

平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 達成」…◎」 概ね達成」…○」
 「一部達成」…△」 未達成」…未」
 繰越」…繰」
 遂行困難」…フ」

南城市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H28成果目標 (指標)	H28成果実績 (指標)	総合評価
1	①		スポーツツーリズム推進事業	H24 ～ H30	本市陸上競技場は、スポーツキャンプ等が数多く開催されており、観光客等の誘客促進及び青少年の健全育成を図るため、天然芝の良質な状態を保持・管理する人材を育成する。	サッカーキャンプ等の受け入れ (3チーム)	サッカーキャンプ等の受け入れ (2チーム)	未
1	②		観光交流サイン整備事業	H25 ～ H29	来訪者にとってわかりやすい誘導案内や周辺案内、解説板、名称板等のサインを整備することにより、スムーズな案内誘導を進めるとともに都市景観の向上や、歴史文化遺産の顕在化と魅力の充実、市民と来訪者との交流促進、観光の振興を図る。	集落域文化遺産サイン設置工事完了 :7集落 ・来訪者の文化遺産への理解や到達の利便性の向上 ・地域住民の地元にある歴史文化遺産の再認識、活用 ・市民と来訪者の歴史文化遺産を通しての交流促進	集落域文化遺産サイン設置工事完了 :8集落 ・来訪者の文化遺産への理解や到達の利便性の向上 ・地域住民の地元にある歴史文化遺産の再認識、活用 ・市民と来訪者の歴史文化遺産を通しての交流促進	◎
1	③		尚巴志活用マスタープラン実施事業	H26 ～ H30	平成25年度で策定された「尚巴志活用マスタープラン」を実施する事業である。尚巴志の普及、尚巴志スピリットの育成、エコミュージアムの基礎を築き、文化資源を活用した観光振興、地域振興を図っていく。	1. 尚巴志の普及・啓発「情報発信 紙芝居学校アウトリーチ」 ・市内小学校9校4年生 :460名(久高小は全児童) 「文化講演会」 ・目標客数 :100名 2. 地域興しの人材育成 「尚巴志の語り部育成事業」 ・参加者10名 3. エコミュージアムの創造 「文化遺産巡りコンサート」 ・合計観客動員数 :200名 「地域孫会議事業」 ・参加者30名 「琉歌募集事業」 ・応募者数 :140首	1. 尚巴志の普及・啓発「情報発信 紙芝居学校アウトリーチ」 ・市内小学校9校4年生 :460名(久高小は全児童) 「文化講演会」 ・参加者数 :100名 2. 地域興しの人材育成 「尚巴志の語り部育成事業」 ・参加者延べ170名 (5回実施 :平均11.3人) 3. エコミュージアムの創造 「文化遺産巡りコンサート」 ・合計観客動員数 :420名 「地域孫会議事業」 ・参加者192名 「琉歌募集事業」 ・応募者数 :160首	◎

平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 達成」…◎」 概ね達成」…○」
 「一部達成」…△」 未達成」…未」
 繰越」…繰」
 遂行困難」…フ」

南城市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H28成果目標 (指標)	H28成果実績 (指標)	総合評価
1	④	観光振興将来拠点地整備事業	H25 ～ H29	本県南部地域及び本市の体験交流・滞在型観光の促進等、新たな観光振興に向け、空港や沖縄自動車道、那覇市からの交通アクセスが大きく改善される南部東道路周辺地に於いて、公共駐車場や観光情報施設（宿泊施設・レンタカー営業所等）の誘致、各種イベント等との連携を強化し、観光交流拠点の形成を行う。	用地交渉業務の完了（最終年度） 第1期造成工事の完了	—	繰	
1	⑤	地域Wifiネットワーク整備事業	H27 ～ H29	市内の観光スポットを中心に無線ネットワーク機器（アクセスポイント）を設置することで地域無線インフラの構築を行う。構築後は観光ポータルサイトの連動により観光情報の発信を強化し、外国人をはじめとした観光客の満足度及び周遊性の向上を図る。	無線アクセスポイントの整備完了 観光ポータルサイトを利用した観光情報のプッシュ型配信による施設案内の充実	無線アクセスポイントの整備完了 観光ポータルサイトを利用した観光情報のプッシュ型配信による施設案内の充実	◎	
1	⑥	南城市産商品販売力及び観光PR強化事業	H27 ～ H29	本市への入域観光客数の増加や市産商品の販路拡大を図るため、県外・国外で開催される物産展への出展や、プロスポーツキャンプ及び公式戦の誘致等を行い、観光資源や市産商品の情報発信・広報活動に取り組む。	・都市圏での物産展参加による南城市や市産商品の認知度の向上。 ・10周年記念イベントを東京都内で開催することにより、南城市の観光情報を発信でき、観光客誘客の促進。 ・オリジナルノベルティグッズを制作し、配布することにより南城市のイメージを広く・長く発信。 ・プロスポーツのキャンプや公式戦誘致によるスポーツツーリズムの推進。	・都市圏での物産展参加による南城市や市産商品の認知度の向上を実施。 ・10周年記念イベントを東京都内で開催することにより、南城市の観光情報を発信でき、観光客誘客の促進を行った。 ・オリジナルノベルティグッズを制作し、配布することにより南城市のイメージを広く・長く発信。 ・プロスポーツのキャンプや公式戦誘致によるスポーツツーリズムの推進。	◎	
1	⑦	観光交流（防災機能拠点整備事業（ムラヤー構想）	H25 ～ H28	住民と観光客との交流拠点や防災機能拠点施設として整備し、地域の伝統芸能継承、青年会活動などの多様な活動を推進し、観光振興を図る。	H29年度の供用開始に向けた事業の着実な実施（工事の完了）	工事の完了	◎	

平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 達成」…◎」 概ね達成」…○」
 「一部達成」…△」 未達成」…未」
 繰越」…繰」
 遂行困難」…フ」

南城市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H28成果目標 (指標)	H28成果実績 (指標)	総合評価
1	⑧	東御廻り等・体験交流受入整備強化事業	H27 ～ H30	斎場御嶽を拠点に年間約40万人の観光客が訪れることから、集客エリアにおける休憩施設の基本設計及び久高島ロマンスロードの東屋の機能強化を図り、受入体制を整え、更なる観光振興を図る。	歩行者の安全 猛暑対策の充実 ・斎場御嶽周辺休憩施設等基本設計の策定 ・久高島ロマンスロード東屋機能強化 設計委託業務・工事)の完了	斎場御嶽周辺休憩施設等基本設計の策定 ・久高島ロマンスロード東屋機能強化 設計委託業務・工事)の完了	◎	
1	⑨	プロ・サッカーキャンプ等受入施設整備事業	H27 ～ H29	プロサッカーキャンプ受入及び公式戦受入の対応ができる陸上競技場 体育館施設の機能を強化整備し、市民の健康増進に対する意識の向上を推進していく。	南城市陸上競技場に関する実施設計・測量業務 管理道路設計業務の完了 事業用地確保	南城市陸上競技場に関する実施設計・測量業務 管理道路設計業務の完了 事業用地取得の完了	◎	
1	⑩	観光交流施設機能強化事業	H27 ～ H29	市内に点在する観光地(城跡等)を訪れる観光客等の憩いの場として、新たな拠点地づくりを行い、グスクロード公園 知念岬公園(既存施設内)に遊具等を整備し、機能強化することで観光客等利用者の利便性の向上を図る。	施設整備することにより公園機能が強化され、多面的に施設を活用することができるようになり、観光客・利用者の利便性の向上を図ることができる。	公園機能の強化による利便性の向上	◎	
1	⑪	南城市まつり実行委員会支援事業	H28	市内の優れた伝統芸能を一堂に会し新たな観光資源として、広く県内外へアピールし、観光誘客に繋げていく。さらに、琉球王国時代の最高神女である「聞得大君」の即位儀礼(御新下り「おあらおり」)を再現することで、世界遺産「斎場御嶽(せーふあうたき)」の付加価値を高め、更なる観光振興を図っていく。	南城市まつり来場者数 H28年 40,000人	南城市まつり来場者数 H28年 27,025人	未	

平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 達成」…◎」 概ね達成」…○」
 「一部達成」…△」 未達成」…床」
 繰越」…繰」
 遂行困難」…フ」

南城市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H28成果目標 (指標)	H28成果実績 (指標)	総合評価
1	⑫	南城市観光振興計画策定事業	H28 ～ H29	平成30年度から10年間の観光施策を検討するにあたり、これまでの施策の検証を行なうとともに、各種アンケート調査等の基礎調査を行い、中核地を拠点とした南城市らしい観光振興計画を策定する。	本市の現状課題を整理し平成29年度計画策定の資料とする。	現状課題を整理し、計画策定の資料とした。	◎	
1	⑬	観光施設危機管理対策事業	H28 ～ H31	観光産業は、本市経済に大きく貢献する極めて重要な産業となっている。観光振興を図る上で、観光地の危機管理は喫緊に対応する必要があり、本市を訪れた観光客が災害時、安全に避難することが出来るよう計画を策定し、安心・安全な観光地形成に取り組んでいく。	計画策定により観光産業に負の影響を与える観光危機の軽減を図り、観光客に安心・安全な観光を提供する。	観光危機管理体制の構築	◎	
1	⑭	海外交流推進事業	H28 ～ H31	アジアからインターンシップを受け入れ、海外からの視点で南城市の魅力や課題を探り、外国人観光客に関するシーズやニーズを調査すると共に、アジアの旅行社や関係機関へ直接出向いて南城市をPRし修学旅行などのエデュケーショナルツーリズムに取り組み、観光振興に繋げていく。	・インターンシップの成果として学生のプレゼンを実施 ・PR活動実施の完了	・インターンシップの成果として学生のプレゼンを実施 ・PR活動実施の完了	◎	
1	⑮	南城型エコミュージアム実施計画策定事業	H28 ～ H31	特徴ある地域をサテライトとして位置づけ、これらをネットワーク化し観光コア施設を拠点として一元発信するため、平成28年度はサテライトの決定や全体的なマネジメントなどの総論を策定し、平成29年度以降は学生と地域のコラボによるコンペティションを行い地域ごとの計画を各論として策定していく。	南城型エコミュージアム実施計画書 (総論)の発行【00部】	南城型エコミュージアム実施計画書 (総論)の発行【00部】	◎	
1	⑯	芸術による地域活性化推進事業	H28 ～ H29	地域のムラヤーを活用し、地域と沖縄県立芸術大学の学生が協働で、地域資源を生かした沖縄ならではの美術工芸体験メニューを構築し、観光振興に繋げていく。	・ワークショップの参加者 100名 ・展覧会の来場者 100名	・ワークショップの参加者 152名 ・展覧会の来場者 158名	◎	

平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 達成」…◎」 概ね達成」…○」
 「一部達成」…△」 未達成」…未」
 繰越」…繰」
 遂行困難」…フ」

南城市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H28成果目標 (指標)	H28成果実績 (指標)	総合評価
1	⑰		南城市海岸線景観魅力アップ推進事業	H28 ～ H29	沖縄本島南部には、多くの様々な観光スポットが点在しており、観光客の多くは、東海岸の青い海を眺望しながら爽快にドライブし本市を訪れている。訪れた観光客がまた訪れたいくなる魅力ある美しい景観（高台からの眺望、移動景観）の創出に取り組む。	知念区域【=6.0km）の雑木等伐開完了	知念区域【=6.0km）の雑木等伐開完了	◎
2	①		平和発信事業	H24 ～ H30	戦後70年が経過し、沖縄戦の記憶が薄れている中、改めて市民一人ひとりが平和や命の大切さを考える機会として、南城市独自で制定した平和の日（8月10日）を中心にイベント等を開催する。	平和の日を中心にイベントの開催 1回 ・アブチラガマ入壕体験 1回 ・基本プラン作成完了	平和の日を中心にイベントの開催 2回 ・アブチラガマ入壕体験 1回 ・基本プラン作成完了	◎
2	②		平和学習受入体制強化事業	H25 ～ H31	平和学習の一環として第二次世界大戦の追体験を行っている糸数アブチラガマは、自然壕で経年による崩落や周辺環境の変化による壕への影響も懸念され、見学者が安全・安心して見学・体験できるように危険度の調査を行う。	調査結果に基づきアブチラガマの危険箇所を把握する。	調査結果に基づきアブチラガマの危険性が考慮される主要な箇所の把握	◎
3	①		蔬菜花卉園芸施設整備事業	H24 ～ H28	強風等自然災害による被害を軽減し、農作物の安定生産が図れる施設栽培を奨励するため、既存施設の強化及び防風壁導入を支援する。	既存の農業用施設等の整備（5ヶ所）	既存の農業用施設等の整備（8ヶ所）	◎
3	②		耐候性野菜栽培施設整備事業	H27 ～ H29	定時・定量・定品質の農作物出荷を行うため、気象条件に生産量を左右されにくい耐候性ハウスを整備し、農家の経営安定及び産地の形成を図る。	耐候性ハウスの整備（5,000㎡ 約20棟）	耐候性ハウスの整備 5,604㎡ ・10棟	○

平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 達成」…◎」 概ね達成」…○」
 「一部達成」…△」 未達成」…未」
 繰越」…繰」
 遂行困難」…フ」

南城市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H28成果目標 (指標)	H28成果実績 (指標)	総合評価
3	③		優良繁殖牛リース支援事業	H26 ～ H33	和牛繁殖基盤の改良強化を図るため、農家に対して優良繁殖雌牛を貸し付けるものに対し支援を行う。	導入頭数50頭 ・今年度導入率12.5% (全導入目標頭数:400頭) ・母牛の若齢化 (8歳未満) ・基本登録時審査成績向上	導入頭数50頭 ・今年度導入率12.5% (全導入目標頭数:400頭) ・母牛の若齢化 事業導入以前:8.35歳 H28年度:7.99歳) ・基本登録時審査成績向上 事業導入以前:80点 H28年度:80.85点)	◎
3	④		優良乳用牛リース支援事業	H27 ～ H31	乳用牛の改良強化を図るため、農家に対して優良乳用牛を貸し付けるものに対し支援を行う。	導入頭数50頭 ・今年度導入率20% (全導入目標頭数:250頭)	導入頭数50頭 ・今年度導入率20% (全導入目標頭数:250頭)	◎
3	⑤		農業振興アクションプラン策定事業	H28	農業が市域経済の核となる産業として発展し、かつ、農業者が豊かに暮らせる産業として発展していくため、現状と課題の把握及び地域の特性を活かした農業生産・加工・物流を視野に入れた新たな農業展開のビジョンを画き、その実現へ向けたプランを策定する。	農業振興アクションプランの策定 (現状の把握、課題の整理、施策の決定など)	農業振興アクションプランの策定	◎
4	①		低炭素なまちづくり推進事業	H28 ～ H33	低炭素社会を構築するため、市内の防犯灯及び公共施設等の照明器具を省エネ型のLED照明に切り替えることにより温室効果ガスの排出削減を図る。	市内の防犯灯・街路灯の設置状況の把握 自治会が管理する防犯灯及び市の管理する防犯灯・街路灯及び公共施設等のCO2排出量の把握	防犯灯等の設置状況及びCO2排出量の把握	◎

平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 達成」…◎」 概ね達成」…○」
 「一部達成」…△」 未達成」…未」
 繰越」…繰」
 遂行困難」…フ」

南城市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H28成果目標 (指標)	H28成果実績 (指標)	総合評価
5	①	学習支援員配置事業	H25 ～ H33	通常の授業についていけない児童・生徒への学習支援等を目的に、学級担任等の補助者として学習支援員を配置し、対象児童・生徒の習熟の程度に応じた指導や、一人ひとりの学習の定着状況に基づいたきめ細かな指導等、個々の実態に応じた学習支援を行う。	・学力到達度調査において無回答率の縮小 ①小学校(5年)算数前年度比較0.5ポイント改善 ※H26年の無回答率 3.6ポイント H26県平均の無回答率 4.2ポイント ②中学校(2年)数学前年度比較0.5ポイント改善 ※H26年の無回答率 12.7ポイント H26県平均の無回答率 14.9ポイント	・学力到達度調査において無回答率の縮小 ①小学校(5年)算数 前年度比較 1.0ポイント改善 ②中学校(2年)数学 前年度比較 5.9ポイント改善	△	
5	②	特別支援教育(障害児ヘルパー)配置事業	H25 ～ H33	学校教育法において、障害のある児童生徒等の教育の充実を図るため、小・中学校等に在籍する教育上特別の支援を必要とする児童生徒等に対し、適切な教育(特別支援教育)を行うことが明確に位置付けられ、それにより、障害のある児童生徒等の通常学級への受入れ機会が増加している。そのため、幼・小・中学校へ特別支援教育支援員や障害児ヘルパーを配置し、担任教師と連携し、適切な特別支援教育を行う。	・学習や学校生活面におけるのサポート体制を強化し安心して学べる学習環境の構築 ・幼児・児童・生徒個々の特別支援教育支援員(障がい児ヘルパー)活用報告書の作成(年2回)	・学習や学校生活面におけるのサポート体制の強化 ・幼児・児童・生徒個々の特別支援教育支援員(障がい児ヘルパー)活用報告書の作成(年2回)	◎	
5	③	小・中学校電子黒板等整備事業	H28 ～ H31	児童・生徒の学力向上の取り組みとして、ICTを活用し既存の学習活動と融合した効果的な授業展開を実施することを目的に、各小・中学校の普通教室や特別教室へ電子黒板等を整備する。	・学力到達度調査において無回答率の縮小 ①小学校(5年)算数前年度比較0.5ポイント改善 ※H26年の無回答率 3.6ポイント H26県平均の無回答率 4.2ポイント ②中学校(2年)数学前年度比較0.5ポイント改善 ※H26年の無回答率 12.7ポイント H26県平均の無回答率 14.9ポイント	・学力到達度調査において無回答率の縮小 ①小学校(5年)算数 前年度比較 1.0ポイント改善 ②中学校(2年)数学 前年度比較 5.9ポイント改善	△	
6	①	なんじょう歴史文化保存継承事業	H24 ～ H33	本市は神の島「久高島」や世界遺産「斎場御嶽」、国指定文化財「グスク等」の多くの歴史遺産、琉球王朝時代から引き継がれた精神文化が今も数多く残る地域である。 これら貴重な文化遺産を後世に引き継ぐことを目的になんじょう歴史文化保存継承事業を実施する。	・「グスク(仮称)」刊行 ・「御嶽(仮称)」分類の確定 ・資料集「戦争」執筆要綱の完成 ・「民俗」調査体制の確立	・「南城市のグスク」の刊行 ・「御嶽(仮称)」分類の確定に基づく補足調査の実施 ・資料集「戦争」執筆要綱未完成 ・「民俗」調査体制の確立	○	

平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 達成」…◎」 概ね達成」…○」
 「一部達成」…△」 未達成」…床」
 繰越」…繰」
 遂行困難」…フ」

南城市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H28成果目標 (指標)	H28成果実績 (指標)	総合評価
6	②		文化センター機能強化事業	H25 ～ H29	本市における地域伝統文化及び市内イベントの拠点として文化芸術創造の発信を行っている文化センターの機能強化を図るため、屋外ステージの常設屋根設置工事に向けた設計業務を行う。	屋外ステージ常設屋根設置工事設計業務完了	屋外ステージ常設屋根設置工事設計業務完了	◎
6	③		文化のまちづくり実行委員会支援事業	H24 ～ H33	地域伝統文化の継承及び観光振興を図るため、南城市文化センター・シュガーホールを拠点に、音楽や演劇事業等の各種公演を実施する。	①第22回おきでんシュガーホール新人演奏会 380名 ③知念利津子リサイタル 380名 ②シュガーホール発!!地域めぐり出前ステージ 800名	①第22回おきでんシュガーホール新人演奏会 297名 ③知念利津子リサイタル 314名 ②シュガーホール発!!地域めぐり出前ステージ 1,030名	○
7	①		健康づくり支援調査検証事業	H25 ～ H28	市民の健康づくりを支援するため、健康教室等の開催及び児童生徒生活習慣病予防健診等を実施するとともに、その効果等について調査検証する。	講演会、健康体操等の実施後に、アンケート調査等を行い、事業効果を評価検証し、市民の健康増進意識の向上を図る。(10回) ・中学生(約450名)を対象とした血液検査を実施・検証し、その結果返しの中で、親子へ保健指導を行い、生活習慣病予防意識の向上を図る。	講演会、健康体操等の実施(3回)を行い、アンケート結果から多くの方に理解してもらい健康増進意識の向上を図れた・ ・中学生(236名)を対象とした検査結果をもとに保健指導を行い家庭での生活習慣病予防と日常生活の見直しの機会を作ることで生活習慣病予防意識の向上を図れた。	○